

第18回『礼儀正しさとは』

柔道を通して、「礼儀」について考えました。日本で生まれた柔道ですが、フランスでは、100万人を超える人が柔道に親しんでいるそうです。リオ五輪代表の大野選手は、金メダルを獲得しましたが、勝利の後、表情を変えずに相手に深々と礼をし、畳を下りてから笑顔になりました。後に大野選手は、この行動を振り返って「柔道の美しい側面も見せることができたと思う。」と話したそうです。

インターネットなどで、直接会話を交わさなくてもコミュニケーションが取れる現代だからこそ、相手への言葉遣いや態度で、相手を敬う気持ちを伝えたいものです。普段何気なく交わしている挨拶やお礼も今まで以上に大切にしたいですね。

みんなの意見

学んだことや感じたこと

- 礼儀正しい人こそ優勝したときにはいろいろな人から祝福されると思うし、自然と応援されると思う。これからはもっと礼儀を意識して生活していこうと思う。
- 勝った後すぐ喜ぶのではなくて、相手の選手に感謝を忘れず、「礼」をしてすごいと思いました。
- 大会に関わってくれた審判や補助員の方など会場にいる人たちにお礼をするのはすごいなと思いました。
- 日本の文化は作法とか礼儀がしっかりしているというイメージがあるけど、それは競技にもあると言うことを初めて知ったし、素敵だと思った。
- どんなスポーツでも礼儀を重んじる選手やチームが最も強いと思った。これからも礼儀を大切にしていきたいと思った。
- 日本人代表として出てもらっていて、「柔道の美しい側面」を見せていただいたのはとてもうれしい。そういう人がいるから日本はいい国って言われるのだと思う。
- どんなときでも「礼儀」を忘れずに行動したことは本当にすごいなと思った。私も常に礼儀正しくしたい。

礼儀にはどんな意味があると思いますか？

- すべての人たちが気持ちよく生活するためにある。
- 相手を思いやる気持ちなどいろいろな気持ちがこめられている。
- 相手への敬意の気持ちや感謝を表す。

礼儀の意味を考えよう。

